

淡江大學104學年度進修學士班轉學生招生考試試題

系別

日本語文學系三年級

科目：中級日文

考試日期：7月24日(星期五) 第3節

本試題共 七 大題，兩 頁

* 依序作答，題號標示清楚。

一、「諺」的選擇與中譯(20分、不用抄題)

(一)、請從下列(A~J)的答案中選出與題目意義相同的「諺」，並譯成中文。(2×5=10分)

題目區：

- 1、「猿も木から落ちる」= ()、中譯：()。
- 2、「二兎を追う者一兎をも得ず」= ()、中譯：()。
- 3、「塵も積もれば山となる」= ()、中譯：()。
- 4、「絵にかいた餅」= ()、中譯：()。
- 5、「暖簾に腕押し」= ()、中譯：()。

答案選擇區：

- | | |
|---------------|----------------|
| A、「陸に上がった河童」。 | F、「石の上にも三年」。 |
| B、「紺屋の白袴」。 | G、「赤子の手を捻るよう」。 |
| C、「虻蜂取らず」。 | H、「捕らぬ狸の皮算用」。 |
| D、「怠け者の節句働き」。 | I、「濡れ手に粟」。 |
| E、「河童の川流れ」。 | J、「二階から目薬」。 |

(二) 請從下列(A~J)的答案中選出與題目意義相反的「諺」，並譯成中文。(2×5=10分)

題目區：

- 1、「三人寄れば文殊の知恵」= ()、中譯：()。
- 2、「せいては仕事を仕損じる」= ()、中譯：()。
- 3、「下手の横好き」= ()、中譯：()。
- 4、「亀の甲より年の功」= ()、中譯：()。
- 5、「虎穴に入らずんば虎子を得ず」= ()、中譯：()。

答案選擇區：

- | | |
|-----------------|------------------|
| A、「君子危うきに近寄らず」。 | F、「張り子の虎」。 |
| B、「虎の威を借る狐」。 | G、「老いては子に従え」。 |
| C、「弘法筆を選ばず」。 | H、「好きこそ物の上手なれ」。 |
| D、「紺屋のあさって」。 | I、「餅は餅屋」。 |
| E、「先んずれば人を制す」。 | J、「船頭多くして船山に登る」。 |

二、將下列語彙標注日文讀音(20分、* 要抄題)

- ①夫婦共働き、②信賴關係、③忠誠心、④教育改革、⑤学力低下、⑥受験地獄、⑦求人倍率、⑧贊否兩論、
⑨一長一短 ⑩立ち往生、⑪情報通信、⑫一石二鳥、⑬猛勉強、⑭力不足、⑮大型連休、⑯交通事故、⑰災害救助、
⑱原因不明、⑲美意識、⑳環境破壊、

三、外來語的中日互譯(10分、不用抄題)

- ①採訪：() ②刻板印象：() ③溝通：() ④全球化：()
⑤打工：() ⑥チャンネル：() ⑦マルチメディア：()
⑧アンケート：() ⑨ハイテク：() ⑩パワーハラスメント：()

本試題雙面印刷

淡江大學104學年度進修學士班轉學生招生考試試題

系別

日本語文學系三年級

科目：中級日文

23-1

考試日期：7月24日(星期五) 第3節

本試題共 7 大題，兩頁

四、選擇及全文中譯 (選擇1分, 中譯2分, 共15分。不用抄題。)

1、日本料理は素材の持ち味や季節感を(?) <①使った、②嘗んだ、③回した、④生かした、⑤満ちた> 淡白な味で、見た目が美しいのが特徴だといわれている。

(1) 選擇()、中譯：()。

2、北海道は、明治時代以降欧米人の協力の(?) <①うえで、②もとに、③もとで、④すえ、⑤あげく> 開拓が進められた。その影響で洋風の建築物が今も多く残っている。

(2) 選擇()、中譯：()。

3、現場の人間として日本の教育は危機的水域に達したことを実感している。自らの意思で学びから逃走する子供たちが今(?) <①団体的に、②一括的に、③総合的に、④無意識的に、⑤組織的に> 発生している。

(3) 選擇()、中譯：()。

4、ゆとりや多様化の教育のせい、あるいは視聽覚文化の時代に新聞や本をあまり読まなくなったせい、さらにはコンピューターの悪い面の影響のためか、学生は「言語」を<①得意、②苦手、③下手、④上手、⑤不明瞭> するようになったようである。

(4) 選擇()、中譯：()。

5、学生の提案を、実際に授業に取り入れている大学が増えている。学生と教員が具体的な内容を相談して決めるため、教育に学生が主体的に(?) <①とりくむ、②まつわる、③ささげる、④かがやく、⑤かかわる> 仕組みとして注目されている。

(5) 選擇()、中譯：()。

五、將() 內的語彙，以適當形式完成下列文句 (10分, 不用抄題)

- 1、株を(買う) 途端に、値段が下がった。答：()。
- 2、彼女はお金がないと(言う)、良く海外旅行に出かける。答：()。
- 3、たとえ(高い)、ほしいものならやはり買います。答：()。
- 4、一円(たる)、無駄に使えない。答：()。
- 5、あの人のことは(忘れる)、忘れられない。答：()。
- 6、(受け取る) 次第、すぐご連絡します。答：()。
- 7、日本に(来る) 以来、ずっとこの待ちに住んでいる。答：()。
- 8、子供は親の背中を(見る) 育つ。答：()。
- 9、私は日本語を(学ぶ) べく、日本に来ました。答：()。
- 10、この2、3日、(くもる) がちな天気が続いている。答：()。

六、填入適當的助詞 (5分, 不用抄題)

- 1、試験(?) 前にして、学生は緊張気味だ。答：()
- 2、日本の高校は、管理主義(?) 規則づくめだ。答：()
- 3、親(?) 反対されても、私は留学に行く。答：()
- 4、これは誰(?) やったのですか。答：()
- 5、大地震で一万人(?) 死傷者が出た。答：()

七、作文 (20分, 無字数制限)

「私の好きな日本文化」 (或いは、日本の文芸作品、ドラマ、映画などでもよい)